

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03 (3581) 6211 (代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>



自民党神奈川6区時局講演会 石破茂先生講演より

自民党神奈川県第6選挙区支部（支部長・古川なおき衆議院議員）では、10月2日保土ヶ谷公会堂にて、石破茂自民党元幹事長をお招きし、日本の安全保障について大変すばらしいご講演をいただきました。以下の通り本誌にて抄録を掲載させていただきます。

はじめまして石破茂です。

本日は地元神奈川6区選出の古川なおき先生にお招きをいただき、日本の安全保障についてお話しをさせていただきます。と思っています。

【戦争とは何か】

戦争って狂気の世界だと思います。国の数だけ正義はある。100%正しい戦争なんて世の中にはないと思います。戦争は狂気の世界であり、それだけはやってはならない。そうならないためにどうするのか、ということを考えるのが政治の仕事の大きな1つだと思っています。

人類の歴史はずっと戦争の歴史でした。第一に領土、第二に宗教、第三に民族、第四に政治体制の違い、第五に経済観の格差から戦いが起こる。ただ米ソ冷戦の間だけは大きな戦争がなかった。どっちが勝ってどっちが負けるかわからない時、戦いは起こらないということになっています。これをバランスオブパワーの理論と申しております。

【テロの時代】

また今はテロの時代です。いつどこで誰が誰から殺されるのかわからないのがテロです。テロ集団はそれをあっちこちですべて社会を弱体化して権力を奪い取る。今まで国でなければできなかった破壊行為をテロ集団ができるようになった。死んだら「あの世に行けてもっと幸せだ」と思っている人たちに抑止力は効かないですね。

【北東アジアの安保環境】

ロシア・中国・北朝鮮のような核を持った我々の価値観とは異なる独裁国家に取り囲まれている日本の安全保障をどうするのか。

きちんと議論しないと、この国はどうなるかわかりません。そういう時代に我々は今生きています。

【憲法改正】

では日本はどうか。日本国憲法は日本が独立前にできた憲法です。だから軍隊の規定がありません。緊急事態条項がありません。独立した国ではないから、日本はやらなくても米国が全部やりますよというのが日本国憲法であります。本当は我が国が独立した時に憲法は改正するべきでした。

憲法9条は「日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇または武力の行使は国際紛争解決手段として永久にこれを放棄する」としている。問題は第2項で「9条1項の目的を達成するために陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない、国の交戦権はこれを認めない」と言っている。では自衛隊が持っている戦車や戦闘機は何なのか。領土であり国民であり国の統治の仕組みが犯された時にそれを排除するのは軍隊というものです。「日本に軍隊はない。戦車や戦闘機は必要最小限度だから自衛隊は戦力じゃない」などといつまで言い続けるんだ。こんなことを言っているから日本人の意識はだんだん歪んでくる。

自民党は平成24年に憲法改正草案を作りました。日本国民は「侵略の手段としての武力の行使または武力の威嚇はこれを未来永劫放棄する」。「侵略の手段としては」、と書けばいい。



自民党

【安全保障】

日本の防衛予算はGDPの2%、5年間で43兆。これが適正なのか誰もわからない。戦車一両10億円、戦闘機F35一機120億円、イージス艦一隻1800億、でも安いかわからないし、どんな性能なのかかわからない。分かっているのは自衛官だけですから、どうなのかということを納税者の代表として政治家が国会で聞かないでどうするのですか。自衛官が国会で答弁しないのは、間違った文民統制だと思います。

台湾有事で米国は台湾を助ける場合、日本の基地を使うと言っています。事前協議で日本は判断しなければなりません。その時に中国から「いい」と言ったら横浜に核ミサイルを落とすぞと恫喝されたら、政治家はどう判断するのですか？ それを考えるのが安全保障です。同時にロシアと北朝鮮で朝鮮半島有事が起こる可能性もあります。すべてが複合的に起こった時に、政府はどう判断して、それを国民にどう説明するか極限状態まで考えておかねばなりません。

自分の国は自分で守る。日米同盟の信頼性を増す。すべて当たり前のことです。きちんとした文民統制をやること。自衛隊って何なんだ、ってことにきちんとした答えを出すこと。命をかけて国を守る人たちこそ、最も厳しい規律とともに、最も重い荣誉が与えられなければならない。

そして、政治家の仕事は勇気と真心を持って真実を語る、それしかない。

(2023/10/2 保土ヶ谷公会堂にて)



保土ヶ谷公会堂が満席になりました

<古川なおき支部長所感>

この度は、石破茂元幹事長お招きし神奈川6区の党員並びに多くの市民の皆様に対して時局講演会を開催できましたことを嬉しく感じております。ご存知の通り、石破先生は我が国を代表する外交安全保障政策の論客であり、常に次代の総理大臣候補として国民から期待されている政治家です。

今回のご講演に通底するのは、日本を取り巻く今の東アジア情勢への切迫した危機感です。中国、北朝鮮、ロシアと軍事力を高める独裁国家に囲まれた日本が、平和を守る為に「今こそ抑止力を高めねばならない」というご主張には、私自身強く共感するものでありました。

政府自民党としても、安倍・菅・岸田政権と一貫して、激変する国際情勢に合わせて外交安全保障政策の改革を続けてきました。安倍元総理が構想し、菅前総理が発展させた「自由で開かれたインド太平洋戦略(FOIP)」の下、中国による周辺国への圧迫を止めさせるために、日米豪印のクアッド(四カ国戦略対話)を結成しました。太平洋における「法の支配」を前面に打ち出し、中国の「力の支配」に待ったをかけたのです。

岸田政権では、安保三文書「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」を閣議で決定しました。ここでは(1)反撃能力保持、(2)防衛装備移転見直し、(3)サイバー戦準備、(4)海上保安能力向上、(5)経済安保推進など、戦後の安保政策の中でも画期的と言える政策変更を行っています。なかでもODA(政府開発援助)とは別に、新たにOSA(政府安全保障能力強化支援)制度を創設したことは特筆に値します。これは「日本の平和にとって望ましい安全保障環境を創出するため」、周辺の同志国のニーズに沿った軍事的な面での資金供与、資材・インフラの供与等を提供する試みです。同盟国・友好国の連帯を維持し、中国の台頭に抗する大変有効な戦略だと感じています。まだまだ石破先生のご提議されている水準には及んでいませんが、危機感だけは政府与党一体となって共有していることは間違いありません。

今回、石破先生のご講演を拝聴し、私も志を新たにすることができました。引き続き、我が国の安全と平和のため、私も努力してまいります。

自民党神奈川県第6選挙区支部長

衆議院議員 古川直季

自由民主党神奈川県第六選挙区支部 支部長 古川なおきプロフィール

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1
TEL:045-391-4000 FAX:045-366-9700
E-mail: jm@furukawa2002.com

- ・1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- ・希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- ・横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市議員26歳最年少当選
- ・自民党横浜市議員団団長、政務調査会長、総務会長を歴任
- ・2021年衆議院議員総選挙神奈川6区(保土ヶ谷区・旭区)より92,405票で小選挙区当選
- ・自民党では無派閥(菅グループ)で活動
- ・<常任委員会>総務委員会 / 文部科学委員会
- ・<特別委員会>政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会
- ・自民党2027横浜国際園芸博覧会(花博)推進特命委員会 事務局長
- ・保土ヶ谷区スポーツ協会 顧問
- ・旭区サッカー協会 顧問
- ・希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
- ・2018年横浜マラソン完走(5時間8分)



古川なおき
ホームページ



facebook



X

